

かわべ

隔月発行
河 辺 村 公 民 館
編 集 員 会
館 報 編 集 委 員 会
☎ (089339) 2311
佐 川 印 刷 KK
吉田町北小路 ☎ 2-0600

河辺村人口動態

(S56. 11月1日現)

世帯数 594
人 口 2,116
男 1,086
女 1,030

(S55. 10国調)

世帯数 647
人 口 2,009
(S. 50. 10国調)

世帯数 666
人 口 2,368

河辺の文化を高めよう

第六回村民文化祭開く

今年の文化祭は「ふるさとを今一度みなおそう」を統一テーマに十月三十日、三十一日の両日、集落センターを主会場に開かれ延べ七八〇人が訪れてにぎわいをみせた。

展示部門は集落センターを主会場に写真、書道、絵画、マンガ、俳句、短歌、趣味の作品、生け花、行政パネルなどの作品がところせましとばかりに廊下の壁面いっぱいに展示され、第二会場の選果場では菊花、盆栽の展示が行われました。

今年初めての試みだった野点コーナーに、お客が少ないのでは心配をよそに、子供たちも気がるに出入りして二〇〇人分の茶菓子もまたたく間に消化された様子でした。

また、両日おこなわれた農産物即売会と婦人会バザーに人々がさつとうし、共にうれしい悲鳴をあげる大盛況でした。

二日目のグループ発表会は、詩吟と踊りが披露され、今回は小学

生が詩吟を詠じるなどの新しい試みもありました。

特に今年の大きな特徴としては、住民総参加の文化祭をめざす足がかりとした「行政パネル展」で「目でみる村のあゆみ」をテーマに、各課が手がけた身近な統計、写真、図表など生活に結びついた興味ある資料が会場いっぱいにあふれ、観覧者は足を止めて見入るに似たり「これは貴重な資料ばかりで非常に参考になった」と好評を博したコーナーでした。

また、カメラ同好者による「写真友会」が新しく生まれ「ふるさと再発見」をテーマに写真展を行い文化祭を盛りあげましたが、このような文化グループが次々と生まれてこそ、河辺の文化向上も期待できます。

今後、住民が何らかのグループに所属することを目標にグループ育成を進めて、いつの日か、河辺文化協会設立も夢ではないということを期待したいものです。

なお、一般の作品で審査のあった菊花、盆栽の結果は次のとおり。

◎菊花の部

金 賞 大野タケ

銀 賞 向井鳥子、向井ミツエ

銅 賞 矢野シゲラ、藤田ミツエ

佳 作 藤田寿子、清水道則

有友喜代次

◎盆栽の部

アイデア賞 本田 修

アイシソウデ賞 山本 栄

クレイデ賞 名本勲滋

オモシロイデ賞 片山繁森

ジョウズデ賞 松本満義

メブラシイデ賞 児玉恒義

サイタラクレイデ賞 矢野徳一



一般の作品も多かった展示部門

また、両日おこなわれた農産物即売会と婦人会バザーに人々がさつとうし、共にうれしい悲鳴をあげる大盛況でした。



好評だった農産物即売



興味ある資料いっぱいの行政パネル展

～おしらせ～

十二月二十一日

交通安全の日

十二月二十三日

定例村議会

十二月二十五日

小中学校終業式

十二月二十八日

御用納め

一月三日

成人式

対象はS三十七

年一月一日〜同

年十二月三十一

日生れ

(簡素化の時節、服装は華

美にならぬよう、洋服で

出席しよう)

一月四日

御用始め

一月八日

小中学校始業式

文化祭への提言

稲田 秀一

河辺の農業を見なおそうと始めたのですが、かなりの盛況ぶりです。品物によつてはすぐに売り切れてしまうものもあるほどでした。これが定着してくれば、もっと多くの農産物が集まり、それによって、農業に対する関心が高まり、河辺の農業振興に役立ててくれると思います。

屋外では初めての試みとして、農産物の即売会が開かれました。これは河辺で作られた野菜を持ち寄り展示即売する事で、

屋外では初めての試みとして、農産物の即売会が開かれました。これは河辺で作られた野菜を持ち寄り展示即売する事で、

トピックス

―県展初入選の快挙―

この話題の人は河辺保育所に勤務する名本升子さんで、九月に開催された第三〇回愛媛県展日本画部門に初出品し、応募数二二〇点の中で初入選するという快挙がなされました。

入選作品は、三〇号タテ七

この話題の人は河辺保育所に勤務する名本升子さんで、九月に開催された第三〇回愛媛県展日本画部門に初出品し、応募数二二〇点の中で初入選するという快挙がなされました。



入選作品の「煙草」

やねばし

「三ツ児の魂百まで」昔の人はよく言ったものだと思ふ。最近、特に幼児教育の問題が盛んに論じられるようになってきたことは、現在全国的に急激に上昇している青少年非行の問題と決して無関係とは思えない。

今年の春、大阪へ旅行した際に、空港からアベノ行きのバスの中で感じたことであるが、ちょうどそのバスは満員の状態であった。

私の反対側後方の座席に、二組の母子連れが乗って来て、両方とも三才児の子供に、一人前の座席へおぼろげに座らせているのである。わずかに三十分位の事、子供を自分の膝の上にも抱く位の親の心がけが欲しいと思つたものである。一見、何でもよいようなこの親心が、子供の成長にどんな影響を与えるか成長するに従つて、なんでも自分本意に考え、人の迷惑を省みないわがままな子供になりはしないか。

最近の夫婦間の子供の出生率は、平均一・八人と聞くが、昔と違つた家族構成が、子供に対する母親の過干渉、過保護となつていないか。毎日のように知らされる青少年非行の問題と、世の親達のなげない日常生活との関わりをどう考えるべきなのか……。

世界的にも、先進国ほど問題が激増しているようである。

戦後、三十余年日本はすばらしい経済発展を遂げて、生活水準も戦前とは比べものにならないほど向上し、教育程度も世界に誇れる国となり、先進国の仲間入りは出来たが、その反面お互いの人間関係はどうだろうか？

家庭の中で、あるいは社会的交流の中で、また知らずくのうち

に、子供達の心を傷つけるような大人の行動はないか……。

今こそ、世の大人は地域ぐるみで、豊かな人間性をもつ健全な青少年育成のために、自らの姿勢を正して大いに努力しなければなら

ない時ではないだろうか。

ふるさと行事 (旧11月)

「己午」

旧暦の十一月己午の日に、新仏さまの己午の祭りがあり、この行事は全国的なものでなく南予の一部でのみ行われる。まず、お墓に大シダをつけたシメ縄を己の日に張っておき、午の日の早朝に一夜かしの餅米で、薄く広い餅をつき、その餅と干柿、栗、蜜柑などのお供えを持って近身者たちが墓参りする。

参拝が終わると墓前でワラ火を炊いて、お供えの餅をアブリ温めて、出刃で参拝者数に小切りし一切れを出刃先で肩越しにさし出し、一切れずつ取って食べると冬を無事に越し夏やみしないという。この行事は「新仏さまのお正月」といわれるもので「鳥の鳴かない内に墓参りするもの」「一夜かしの餅はつかぬもの」「己午の日は米をかきさない、餅をつかない」



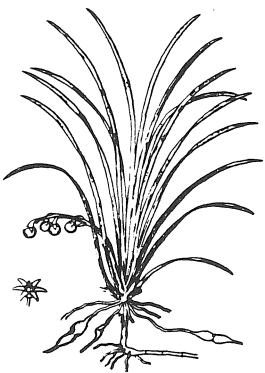
カト 高田幸三 (河津中)

河辺の植物シリーズ (5)

「リュウノヒゲ」

(ユリ科)

別名をジャノヒゲ、ジンノミとも言い、あぜ道や樹林下に普通の多年草である。初夏に淡紫色又は白色の小花をつけ、初冬に青紫色の種子をつける。「青空のしづくのごとく竜の玉」探風は、種子の美しさをよく表している。

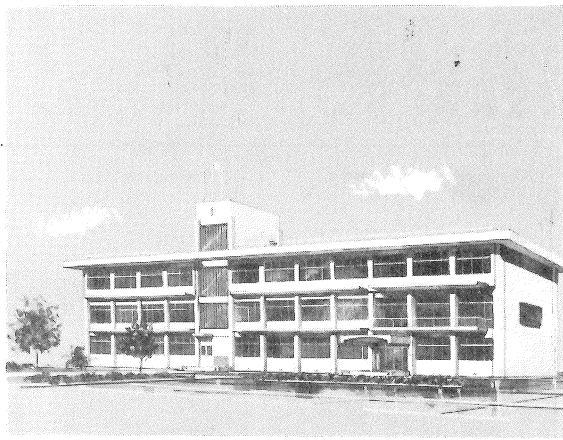


種子はよく弾むので、子供達は、地面に投げつけたり、突き鉄砲の玉にしたりして遊ぶ。根の肥大部を乾燥したものは、麦門冬と言ひ、漢方の主要な生薬である。名医別録に「陰を強くし精を益し、穀物を消化し、中を整え、神を保ち、肺氣を定め、五臓を安んじ、身体を肥健ならしめ、云々」とある。尚薬酒にして用いれば、速効性ありと。

(東)

飛躍をめざす肱川分校

一新校舎が三月に完成



大洲高校、肱川分校の移転新築については、以前から関係者はもちろん、地域住民からも熱望されておりましたが、いよいよ実現することになり、去る九月三十日に起工式が行われました。

肱川町、河辺村の関係者による陳情を皮切りとした熱心な働きかけと、地域住民各位のご支援、さらに県当局のご理解を得て待望久しかつた分校の新築が実現することになり、今後の飛躍的な発展が期待されています。

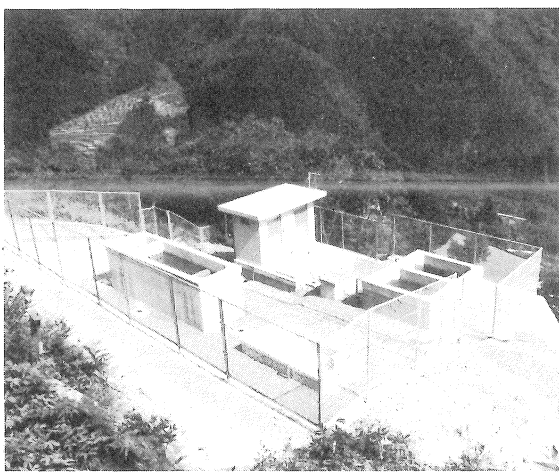
昼間定時制の特色

週五日月々金の開校で、授業は三年間で終了し四年生は職場実習生として就職したり家事に従事します。卒業資格も大洲高校普通科卒業となります。少ない経費で卒業資格取得毎月の授業料はわずか一、七五〇円で全日制高校の月六、〇〇〇

国民年金の還元融資を受けて、飲料水供給施設が着々と進められています。河辺村の水道普及率は二九・七%で、県下でも七番目という悪さです。今後一層、水道事業の普及が必要になっていきます。

進みゆく水道事業

- 五十五年度総事業費
- 竹の瀬地区施設 (給水人口六一人) 事業費 三五、〇〇〇千円
- 寺敷地区施設 (給水人口二二人) 事業費 一二、五〇〇千円



竹の瀬地区飲料水供給施設

理由なく、取れぬ 使えぬ、他人の戸籍

役場の窓口で、他人の戸籍謄(抄)本を請求するときは「請求の事由」を具体的に明らかにしなければなりません。また、プライバシーの侵害や差別につながるような不当な目的で戸籍の謄(抄)本を請求することはできません。「請求の事由」を偽るなど不正な手段で他人の戸籍又は除籍の謄(抄)本の交付を受けたときは、過料に処せられます。

同和教育シリーズ (8)

家庭における同和教育 同和教育といえは、何か特別な変った教育であるように考えがちですが、家庭における日常の暮らし、家庭の話し合いの場などの中にこそ、この問題の解決につながる基本的なことが数多く含まれているのではないのでしょうか。

私達は、この機会に、もう一度身近な問題を見直し、子供の幸せのために、みんなの幸せを願って、地道な活動を展開していきたいものだと思います。同和教育は、ひとりひとりが幸せな暮らしをさずく力を身につけ、差別のない、住みよい社会を実現していく民主主義の教育です。

短歌

- 戸田 薫明 子孕みし赤蟹一匹がみのり田の溝よりゆく夕映えの刻
- 田辺 照代 眠る孫にそつと掛け足す布団にも祖母の真の情こもりぬ
- 古梅 貞道 生きのびて老いゆく我が越しかたもついにさびしきみちなりしかな
- 上林 ヨシ子 冴え冴えと月光射し入る夜半覚めて激しく痛む虫歯に耐えおり
- 和氣 弥三男 靖国の間垣に匂う梅の花 色こそ見へぬ国の鎮めま
- 西 政代 数十年辛苦に耐えて努力積むその甲斐今ぞ現われる幸
- 中本 文江 行く雲のまにまに浮ぶ月影の気高きを拝す中秋の名月

消息

- (出生) おめでとございます。植松 父 正司 富永 文明
- 〃 〃 磯若 渡部 淳
- 〃 〃 茂樹 大野 慎也
- 〃 〃 昭広 富岡 廣輝
- 〃 〃 修 本田 暁子
- (結婚) 末ながくお幸せに (幸田 清光 (国木) 曾我日出子 (八幡浜市) 太田 俊吉 (百合谷) 中尾三賀子 (内子町) (死亡) お悔み申しあげます。上大成 二宮 芳明 (七二才) 赤ヶ滝 和氣 春義 (五七才) 横通 福田 茂生 (七一才) 用の山 新野 土松 (七八才) 植松 大野 量市 (八二才) 〃 〃 氏原 亀 (六七才) 〃 〃 大峯ツギエ (五九才) 天神 佐伯 宗速 (八八才)